

異業種コラボによる商品開発事例

【開発の背景】

「新製品を開発したがなかなか消費者に届かない、売れない」という深刻な課題があります。

その課題解決のために、県内工芸やクラフトなどの企業とともに「地場産販路開拓研究会」を平成 22 年から行っています。

この研究会では、「消費者を想定した商品開発」および「その商品のテストマーケティング」により「消費者への訴求（どの程度売れるか）」を県内企業とともに検証しており、商品開発においては異業種のコラボレーションを行うことで発想の広がりや固定観念の払拭も試みています。

当センターでは研究会運営のほか、商品開発におけるデザインやシミュレーション、試作支援などを行いました。

研究会に参加した企業によりいくつかの商品が開発され、継続して販売に至っているものがありますのでご紹介します。

【開発した製品の紹介】



インテリア雛 SEKKA Mito-Guro

有限会社 桂雛（茨城県城里町）

雛人形＝初節句というイメージを払拭し新たな市場を切り拓くことを目指した、インテリアにしつとりと飾ることができる大人の女性のための雛。

○「茨城県」という付加価値

- ・水戸藩で使われた黒染め「水戸黒」をイメージした結城紬
- ・雪をイメージした牛久市の淡水真珠を刺繍
- ・SEKKA という名称は古河市由来の雪華から

○価 格：262,500 円

○販売先：有限会社 桂雛



当センターでは真珠刺繍の画像シミュレーション（左図）や企業間コーディネートを支援。

真綿をまとったロープソーブ cocon

そのここ（茨城県つくば市）

結城紬という地域資源を使った新しくかわいい石けん。

従来結城紬関連の小物類としてはネクタイや財布などが多くありましたが、全く異業種とのコラボにより全く新しい商品を実現。

○結城紬素材という付加価値

- ・ロープ部には結城紬の生産過程で生じる残糸を使用
- ・結城紬原料の真綿を石けん生地巻き付けた楽しい手触り
- ・石けん生地には溶融させた真綿を含有

○価 格：1,100 円

○販売先：そのここホームページ（www.sonococo.com）



当センターではロゴタイプやパッケージデザイン、企業間コーディネートを支援。

基礎となった事業

平成 24 年度 オンリーワン技術開発支援事業（地場産販路開拓研究会）

現在の担当部門

紬技術部門

部 門 長

篠塚 雅子

TEL:0296-33-4154

主任研究員

石川 章弘